

## 2 目標達成計画

作成日: 平成21年 8月 3日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は、ゆいどりの現状を知ってもらい地域の理解と支援を得るための場と認識している。地域の消防団の方に委員になってもらったり、ボランティアの方やご家族の交替での参加は、よい結果となっているが、別な視点からの理解を考えていきたい。	多方面からの理解と支援を得るように働きかける。	・管轄である駅前交番の警察署に会議の出席を促す。	6ヶ月
2	12	要介護5が2名、要介護4が2名と重度化している。また、インスリン注射の利用者もあり、質の高い介護力を求められている現状である。家族の動揺に対する対応、介護する側の意識の持ち方の統一を図りたい。	根気強い家族との話し合いと共に、職員一人ひとりのターミナルに向けての心構えを築いていく。	・家族との話し合いの場を積極的に持ち、連携を図る。 ・ターミナルに向けての話し合い、額集会を今迄以上に行う。 ・他施設の経験を聞く。	7ヶ月
3	13	避難訓練は運営推進会議で地域の協力を依頼し話し合っているが、実際に行っていないので、消防署員の立ち合いのもと実施し、専門的な助言を頂き、より取り組みを強化したい。	地域、消防署を巻き込んだ避難訓練を行う。	・地域の消防団、地域の住民、消防署との日程を調整し、日時を決定。 ・事前に回覧板で周知させる。	4ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。